

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 28 年 7 月 9 日		
氏 <small>ふ</small> <small>り</small> <small>が</small> <small>な</small> 名				
所属学部・研究科	教育学部/研究科	3年次 (留学開始時点)		
学 生 番 号				
留 学 先 大 学	ユヴァスキュラ大学 (国名: フィンランド)			
所属学部・学科等名	教育学部			
在 籍 身 分	学部生			
留 学 期 間	平成 27 年 9 月 1 日 ~ 平成 28 年 5 月 31 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: シェンゲンビザ			
	ビザ申請先: フィンランド大使館			
	取得方法, 提出書類: インターネットにて申請ののち、大使館にて面接等。 大使館での面接後約2週間ほどで郵送にて取得。			
	手続きに要した日数: あまり覚えていませんがとにかく早めの行動を。			
その他必要な事前手続き	保険加入、残高証明、大学との手続き(学業やアパート関係)、成績証明等			
出国年月日	平成 27 年 8 月 13 日			
経 路	中部国際空港→ヘルシンキヴァンター空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( <input checked="" type="checkbox"/> 大学関係者 ・その他 ) <input type="checkbox"/> 無 <small>学生センター</small>			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	授業開始前に3日間ほどかけて実施。生活・学業の面におけるアドバイスを主に受ける。			
帰 国 年 月 日	平成 28 年 6 月 21 日			
経 路	ヘルシンキヴァンター空港→ロンドンヒースロー空港→香港国際空港→関西国際空港			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	150 万		円
	内訳	渡航費	15 万	円
		保険料	10 "	円
		教科書代(学費)	50(広大学費)	円
		宿舍費	30 "	円
		食費	30 "	円
		その他 ( 雑費 )	15 ..	円
( 費 )		円		
( 費 )		円		

3. 授業について					
年	学期	9月	7日	～	12月 18日
年	学期	1月	11日	～	5月 31日
年	学期	月	日	～	月 日
年	学期	月	日	～	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	分野にもよると思いますが、僕は取れる授業は多かったように感じます。英語での授業も多く開講されているのでフィンランド語を知らなくても大丈夫だと思います。				
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること				
学術面に関する後輩へのアドバイス	とにかく事前の準備が大切です。				
4. 生活等について					
(1) 留学先の住居について					
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )				
住居の広さ	約	m <sup>2</sup>	同居人の有無		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 2人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )				
住居費	1ヶ月当たり	230ユーロ (現地通貨)		約	3万 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
留学先での住居全般に関するアドバイス	フラットメイトと共同生活になるかと思いますが合わないと思ったらすぐに家を変えましょう。				
(2) 医療について					
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった				
入院した場合	により 日入院				
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった				
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
掛け金は	年間 (11ヶ月)	103630 円	補償額 死亡 10000000 円, 入院1日 円 その他 ( )		
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名					
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:				

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	一度だけ大学の保険センターにお世話になりましたが医師の方は英語も喋れるので自分の症状さへ説明できれば大丈夫です。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	真冬の寒さは尋常じゃないのでしっかりした防寒を。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
なし		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
自転車は早めに手に入れるべき。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 29年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 28年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input checked="" type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	来春より就職活動を開始予定。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		

## 学習の概要に関するレポート

私は自分の専攻が教育ということもあり教育学部の授業をメインに授業をとりました。授業では現在のフィンランドの教育の基盤となっている教育制度の仕組みや根幹となっている考え方を学び、各授業でテーマを変えながら教育について考えを巡らせました。授業中は他国からの留学生やフィンランド人とのテーマについて考察、批判等を通して互いに意見を出し合いその意見についてさらに議論を深めるということをしてしました。フィンランドの教育を学ぶことでおのずと自国の教育について改めて見つめ直すことができましたし、フィンランドだけでなく他国の教育も考えながらより多角的に教育について考えを深めることができました。

ユヴァスキュラ大学には言語系の教師を育成する **Juliet program** というものがあるのですが私はそのプログラムの多くの授業をとりました。それを通してフィンランドでの教師教育のどのように行われているのかを見ることができました。日本の大学と共通する部分も異なる部分もありましたが、優秀な教員が多数輩出されているフィンランドでの教師教育を見ることができたのは1つ収穫だったかと思います。

また授業以外にも(授業中にも)フィンランドの小中学校に訪れることができました。教室内でしか感じられない授業中の雰囲気や先生と生徒の関係性、設備機器、また授業外での生徒の様子など大学での学習だけではわからないようなこともみることができました。時には1日を通して学校に滞在することもあったので部分的にはありますがフィンランドの教師が実際にどのように働いているのかを見ることができました。

僕はあまりとっていませんでしたが場合によっては自分の専攻外の授業もとることが可能なようなので、幅広く学びたい方にとってもいい大学かもしれません。自分にあった学びを見つけられる大学だと僕は思っています。

## 生活の概要に関するレポート

まずユヴァスキュラの街について説明すると、緑と湖に囲まれたフィンランド中部の小さな街ですが、必要なものはだいたい手に入る割と便利のいい街です。毎日留学生たちは自転車で10分から20分ほどかけて自然の中を大学に向かうこととなります。日本とはまったく違う気候の中で移り変わる景色の中を毎日通学するのは僕の1つの楽しみでした。その気候ですが真夏でも30℃にいくかいかないか、真冬は-30℃と日本ではありえない気候なわけですが、ルスカ(紅葉)、湖上スケートからサマーコテージまでフィンランドの四季を思う存分味わいました。

大学についてですが(留)学生に対するサポートは非常に手厚かったです。まず留学生には学生チューターがついて諸々の手続きや日々の生活を助けてくれ、人によってはいろんな場所に連れて行ってってくれるなど本当によくしてくれます。学生支援室のスタッフの方も非常に親切でわからないことがあれば何から何まで優しく教えてくれます。このようなサポートもあって日常(学校)生活で困ることは基本的にありませんでした。

続いてアパートに関してですが、留学生は基本的に他の留学生と共同生活することとなります。要望をしない限りランダムに振り分けられるようなので行って初めてわかるのですが大体2、3人で一緒に住み、キッチン、バスルーム、リビングを共有、そして各個人が自分の部屋を持つというのが一般的です。近所の人と共有で洗濯室があり週3回ほどのシフト制でサウナにも無料で入れます。部屋は広々していて何不自由なく生活を送れます。

基本的にユヴァスキュラで生活の不便はあまり感じません。自転車と防寒具さえあればオッケーだと思っています。むしろ一度住んでみて、僕はもっと長い間ユヴァスキュラに滞在していたかったなと思えるようなすばらしい街と環境でした。